

04

第 4 章

すべての目標につながる
大切な「取組」

04-01

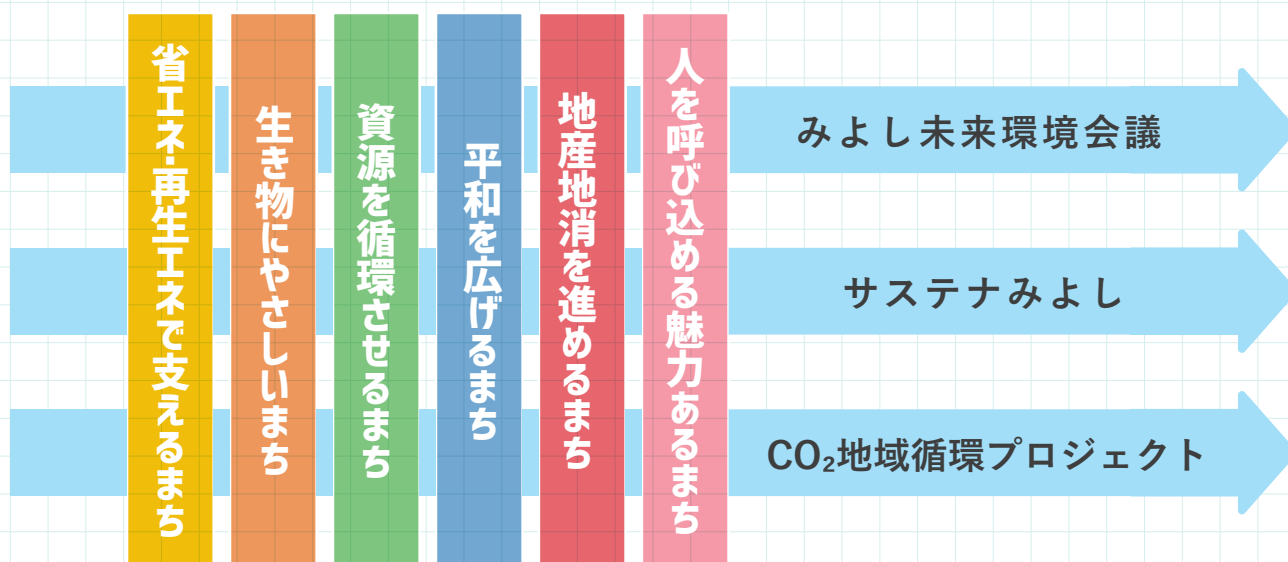
大切な6つの「目標」とのつながり

この三次市環境基本計画に掲げる6つの目標すべてにつながる取組を「大切な取組」として、環境施策全体の推進やSDGs達成に向けて重点的に取り組みます。



SDGsとは

「持続可能な開発目標」という意味で、世界中の国々がいっしょになって、地球を住みやすい星にしようという取組のこと。



04-02

大切な3つの「取組」

(1) 「みよし未来環境会議」の未来に続いていく歩み

三次市環境基本計画の取組をいろいろな視点から進めていくため、サステナアンバサダーとともに幅広く学び、体験し、感じたことをみんなと共有し、実践につなげていきます。

また、サステナアンバサダーにとって、かけがえのない仲間との出会いの場であることや、何ごともあきらめずに誇りをもって挑戦し続けられる場となるよう取り組みます。

そして、この取組を継続し、サステナアンバサダーの年代や活動の場を広げていくことで、「みよし」からみんなの未来を変えていきます。



市内フィールドワーク「地元学」



サステナアンバサダーを背負っているからこそ、発言に責任を持つことが大事だし、伝えた先に相手に何を感じてもらおうのか考えることが大切。



「環境」というのは、地球温暖化や自然に関するものだけではなく、発表しやすい雰囲気も「環境」づくりなのかなと思えた。

〔 2 〕 「サステナみよし」で素敵な「みよし」に

SDGs の 2030 年達成に向けた取組を、「サステナみよし」として具体的な活動の実践と啓発を進めます。

「地球規模で考え、足もとから行動する」をテーマに家庭や学校、職場、地域などで身近にできる活動について、広く紹介し参加や実践を呼びかけます。

サステナみよしの取組例

- サステナ・ビズ（季節に合わせて快適な服装で働くこと）
- エシカル消費活動（マイバッグ、マイボトル、てまえどり、地産地消など）
- 職場や地域（公衆衛生推進協議会など）での清掃・環境美化活動
- イベント等での普及啓発やごみ分別の実践



エシカル消費とは

エシカル消費とは、単に価格やデザインだけでなく、製品が造られる過程や社会・環境への影響を考慮して選択する消費行動のこと。

〔 3 〕 「CO₂地域循環プロジェクト」で「みよし」を元気に

持続可能な脱炭素社会の実現に向け、企業や地域、学校、団体等と連携して、CO₂を資源として地域課題の解決に活用していく調査研究に取り組みます。

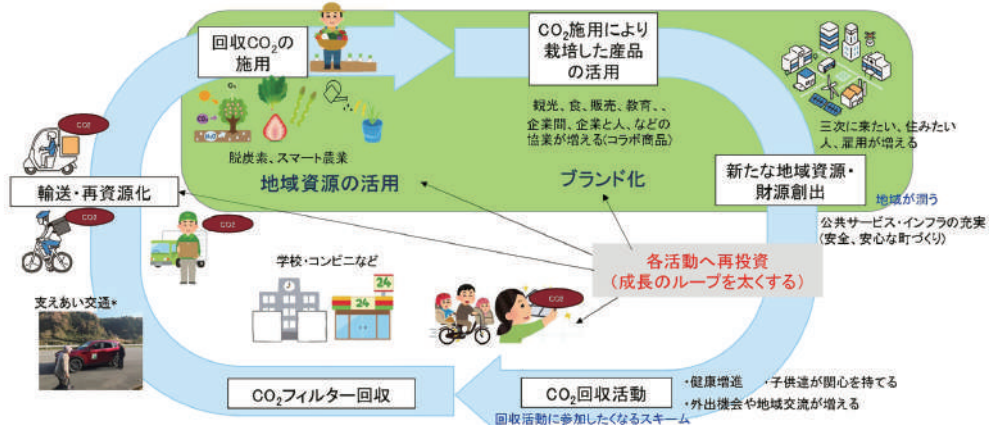
この取組は、企業による CO₂回収の技術開発と連携して、回収した CO₂を農業分野などで活用し新たな価値を創るなど地域活性化をめざすものです。

三次市では、地域での CO₂の資源循環の仕組づくりに向けた調査研究に、環境教育や産業振興、地域振興などの視点も取り入れ、学校や地域等と連携して取り組みます。

取組イメージ：マツダ（株）提供

「CO₂地域循環プロジェクト」全体イメージ

- ・ 回収CO₂を地域資源とする地域循環経済モデルを創出する。
- ・ この循環ループに企業や地域、学校、団体等に参加が拡大することで持続可能な三次市の活性化につなげる。



*三次市/マツダ(株)が取り組む地域交通実証



地球温暖化を防ぐために CO₂の排出を抑えることと、排出されたCO₂を資源として燃料などに利用する研究をしたい。めざせCO₂リサイクル!

